

## (仮称)新川崎地区新設小学校の検討に関するサウンディング型市場調査の結果を まとめました

本市では、新川崎地区における小学校の新設について、令和7年4月の開校を目指して取組を進めるなかで、校舎建設の工期短縮や開校後の管理運営等に係る財政負担の軽減等に寄与する適切な事業手法等を幅広く検討しているところです。

そこで民間事業者のノウハウの活用・創意工夫の考え、適切な事業手法等について、民間事業者から広く意見を求めるため、「サウンディング型市場調査」(以下、「サウンディング調査」という。)を実施いたしましたので、その結果をお知らせします。

### ■実施概要

#### 対話の実施

開催日：令和2年12月2日(水)、12月3日(木)、12月4日(金)

開催場所：庁舎内会議室にて実施

参加者数：5事業者

### ■対話の概要

「(仮称)新川崎地区新設小学校の検討に関するサウンディング調査実施要領」を公表し、新川崎地区新設小学校の整備に事業参画を前向きに検討している企業から、別紙のとおり、御提案や御意見をいただきました。なお、対話は民間事業者のアイデア及びノウハウ保護のため、個別に行いました。

### ■今後の予定

民間事業者からいただいた提案や意見を参考に、整備内容や運営方法について検討を進めていきます。

※なお、サウンディング調査の概要については、市のホームページで御確認ください。

<https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000122356.html>

#### 【問合せ先】

川崎市教育委員会事務局教育環境整備推進室 古俣

電話 044-200-2866

## サウンディング調査における提案書及び個別対話における主な提案内容

### ■ 対話の参加者

5事業者（建設業、リース業、設計事務所 等）

### ■ 対話内容の概要

新川崎地区における小学校の新設に関する、各対話項目の主な意見及び提案は次のとおりでした。今後、これらの意見等を参考に検討を進めていきます。

対話項目	主な意見等
校舎整備及び学校運営に係る財政負担を削減するための提案・助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性能発注（PFI方式やDBO方式等をいう。以下同じ）の場合、契約当初から設計・施工及び開校後の学校運営業務について、契約金額の範囲内で設計・施工を行うことによりコスト管理がしやすくなる。また、設計・施工及び維持管理業務等を一括で契約することにより、個別発注（入札等の落札者に発注する従来の方式をいう。以下同じ）に比べて入札不調などによる事業遅延のリスクを最小限にすることが可能である。</li> <li>・性能発注でも個別発注でも、財政負担の平準化による負担軽減は可能だが、市債による資金調達より民間資金の調達コストが高いことに留意しておく必要がある。</li> <li>・性能発注の場合は一括発注による設計費や施工費の削減が見込める一方、民間資金の調達コストが割高である点等を考慮すると、財政負担の削減効果は限定的である。</li> </ul>
校舎の建設工期を短縮するための提案・助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性能発注の場合、発注に関する事務手続を一度にまとめることで、開校までの事業期間の短縮が期待できる。</li> <li>・令和7年4月開校という事業スケジュールの場合、どの事業手法を採用したとしても、十分な工期の確保が厳しい状況である。したがって「校舎と敷地外構の同時施工」や「一部仮使用の状態での暫定開校」などの対応も検討する必要がある。</li> <li>・性能発注の場合、事業者の選定までに様々なプロセスが必要であり、選定作業の開始から契約締結後に設計を開始するまでに通常1年程度の期間が必要であるため、令和7年4月の開校という事業スケジュールを考慮すると、本件は設計者と施工者を別々に入札等で選定する従来型の個別発注が望ましい。</li> </ul>
最も望ましい事業手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計から建設、開校後の維持管理運営を一体の契約とすることで、事業スケジュールの短縮が見込まれるほか、また設計段階から施工・維持管理・運営の視点を踏まえた事業計画により事業費の削減も期待できるため、性能発注が望ましい。</li> <li>・市内中小企業の活性化という観点から、地元企業が参画しやすい個別発注が望ましい。</li> <li>・事業者を決定し、業務を開始するまでに一年以上の期間が必要になるため、設計期間や工期を十分に確保する観点から、従来型の個別発注が望ましい。</li> </ul>
その他整備事業に関する提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性能発注による場合、要求水準書等により新設校の事業費や計画案を決めたうえで契約するため、発注後の仕様変更が難しい場合が多い。小学校の新設という事業内容を考慮すると、関係者の意向をより設計に反映しやすい個別発注の方が適している。</li> <li>・校舎の構造について、学校用途からの将来的な転用に比較的対応しやすい鉄骨造を推奨する。</li> </ul>